

ためんてききのうしはらいせいどたつざわちくかい  
**多面的機能支払制度立沢地区会（富士見町）**

・組織の活動面積	A=	276	ha
・組織の構成員数	約	312	人

組織形態	農地維持 <input checked="" type="checkbox"/>	資源向上(共同) <input type="checkbox"/>	資源向上(長寿命化) <input type="checkbox"/>
取組開始年度	平成27年～	—	—

構成員	立沢区民
-----	------

**組織の概要**

- ・本地区は、標高1000mに位置し、早くから基盤整備が進んでおり、水資源に恵まれて良質な米、品質の高い高原野菜や花卉の生産地として県内有数な地域です。
- ・農業後継者が不足するなか、本地区では新規就農者が増えており、地域農業の活性化と共に住民との交流の場が生まれています。
- ・本組織は、立沢全区民が構成員であり、区長が全体委員長を兼務しながら区行政と一体となり活動を行っています。



小中学生を始め、構成員や各種団体が活動区内にサルビア、マリーゴールド、芝桜等の植栽活動に取り組んでいます。24年間の環境保全、美化活動により、平成27年度「信州豊かな環境づくり県民会議」で表彰を受けました。

構成員による農道、農業用水路の整備や遊休農地の解消に向けた取り組みを行っています。作業終了後に地区毎に交流を深めています。



有害鳥獣対策用ネットの補修や周辺の草刈り作業は構成員が行い、農道、農業用水路等の保安全管理の作業も行っています。



景観作物の取組みとして、ひまわりの栽培を行い、5月種播き、9月収穫、10月脱穀、12月搾油の各作業を行っています。